

---

## 跡見 (Atomi) の思い出

篠塚二三男

平成9年(1997)に跡見に赴任してきましたが、最初の教授会で挨拶した時のことを昨日のように憶えています。「これまでの10年間に九州の別府の大学で過ごしたのですが、そこを去ることになった時、学生から『次は熱海に行くんですか?』と言われたので、私は『Atami(熱海)じゃない、Atomi(跡見)だよ』と答えました」この話をしたら、教員の皆さまがどっと笑って下さいました。



跡見に赴任した頃

あれから22年があっという間に過ぎてしまいました。赴任した頃はまだ昔ののんびりした雰囲気が残っていましたが、数年も経たないうちに学科改組や新学部設置にともなう大学改革が吹き荒れ、それ以来落ち着かない日々が続いたように思います。教職員のあり方が変わっただけでなく、学生の気質もずいぶんと様変わりしたものです。どちらが良いのかは判断が別れるところでしょう。

10年余り前には「平成生まれ」が大学生になった、ということで教員の間でも話題になりましたが、今年ちょうど元号が変わることになりました。また19年後には「〇〇(新元号)生まれの学生が入ってきた」と言って話題になることでしょう。その時まで私は生きているかどうかわかりませんが、あっという間のことでしょう。

平成の最大の事件は東日本大震災でしょうが、あの時は新座キャンパスで夜更けまで過ごすことになりました。跡見学園のますますの発展を祈念してやみません。

### 略歴

- 1973年 早稲田大学第一文学部(美術史専攻)卒業
- 1976年 早稲田大学大学院文学研究科修士課程(西洋美術史専攻)修了  
同年博士(後期)課程入学 後年単位取得満期退学
- 1978-81年 イタリア政府給費留学生としてフィレンツェ大学に留学
- 1987年 別府大学文学部美学美術史学科助教授
- 1997年 跡見学園女子大学文学部美学美術史学科助教授 2003年教授